

令和7年度(2025年度)
くまもと「親の学び」
プログラム 次世代編
実践事例集



熊本県教育委員会

【 目 次 】

はじめに	1
「親の学び」次世代編実践協力校実施一覧	2
各校の実践	
宇城市立小川中学校	3
玉名市立有明中学校	4
菊池市立旭志中学校	5
菊池市立泗水中学校	6
合志市立合志楓の森中学校	7
合志市立西合志中学校	8
阿蘇市立阿蘇中学校	9
甲佐町立甲佐中学校	10
八代市立第七中学校	11
水俣市立緑東中学校	12
相良村立相良中学校	13
上天草市立龍ヶ岳中学校	14
山鹿市立山鹿中学校	17
紹介 和水町立菊水中学校・和水町立三加和中学校	18
「親の学び」プログラム次世代編	20

はじめに

熊本県教育委員会では、「くまもと家庭教育支援条例第13条」に基づき、中学生、高校生の「じりつ」（自律・自立）を促し、将来大人になることについて学ぶ「くまもと『親の学び』次世代編プログラム」（以下、次世代編プログラムという。）の推進に取り組んでいます。

令和7年度（2025年度）は、県内の中学校13校を実践協力校に指定させていただき、次世代編プログラムの効果的な活用について、実践を重ねてきました。

この13校の実践を取りまとめましたので、各学校におかれましては、次世代編プログラムの今後の積極的な活用にご役立ていただきますよう、お願いします。

★くまもと「親の学び」プログラムについて★

くまもと「親の学び」プログラムとは、保護者や生徒を対象にした参加体験型コミュニケーション講座を進行するためのプログラムです。

生徒向け「親の学び」プログラム（次世代編）は、まもなく大人になる高校生や中学生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムになっています。

また、保護者向け「親の学び」プログラムは、子供の発達段階に応じた「乳幼児期編」「小学生期編」「中高生期編」があり、テーマをもとに考えを出し合うことを通して、保護者が子育てについて前向きな気持ちを持ち、子育てのヒントを得ることができるプログラムになっています。

令和7年度（2025年度）
「親の学び」次世代編実践協力校 実施一覧

地区	実践協力校	実施日	講座実施者
宇城	宇城市立小川中学校	3月19日(木)	・宇城教育事務所 佐田 宏士 社会教育主事
玉名	玉名市立有明中学校	7月17日(木)	・玉名教育事務所 大丸 廣幸 社会教育主事
菊池	菊池市立旭志中学校	11月20日(木)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	菊池市立泗水中学校	2月9日(月)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	合志市立合志楓の森中学校	11月7日(金)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	合志市立西合志中学校	7月4日(金)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
阿蘇	阿蘇市立阿蘇中学校	10月3日(金)	・阿蘇教育事務所 内野 龍一 社会教育主事
上益城	甲佐町立甲佐中学校	9月16日(火)	・上益城教育事務所 田上 清之 社会教育主事
八代	八代市立第七中学校	7月11日(金)	・八代教育事務所 俣嶋 孝宏 社会教育主事
芦北	水俣市立緑東中学校	12月16日(火)	・水俣市立緑東中学校 山田 幸穂 教諭
球磨	相良村立相良中学校	7月11日(金)	・球磨教育事務所 有村 重幸 社会教育主事
天草	上天草市立竜ヶ岳中学校	7月16日(水)	・天草教育事務所 緒方 大将 社会教育主事
山鹿	山鹿市立山鹿中学校	11月12日(水)	・県社会教育課 坂口 祥一郎 社会教育主事

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～宇城市立小川中学校での実践～



【宇城教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現のために今の自分に大切なことを考えよう



「つなぐ」プログラムの様子

【講座の日程等】

実施日：令和8年（2026年）3月19日（木）

場 所：宇城市立小川中学校

日 程：4校時（11：35～12：25）

対 象：第1学年 117名

進行役：宇城教育事務所 社会教育主事 佐田 宏士

【講座の説明】

講座序盤では、生徒同士が自分の思いを伝えることを通してつながりをつくることを目的としてさいころトークを実施した。後半は、生徒が将来について考えるとともに、自らの目標に向かって主体的に行動できるように、「仕事をするときに必要な力」「自分色の未来を創るための行動目標」について話し合った。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - 本日のねらいの確認
- 2 アイスブレイク
- 3 「つなぐ」プログラム
 - さいころトーク
- 4 「描こう♪自分色の未来」プログラム
 - 将来必要な力について考える
 - 行動目標を決める
- 5 まとめ



将来必要な力について選択中

【生徒の感想】

- いっしょのグループの人の知らない一面を知ることができました。1年間過ごしてきたのに知らなかったこともありとてもおもしろかったです。
- 大人になることに実感がなくて、まだ遠い話だと思っていたけど、どんな大人になりたいか考えるのは大切だと思いました。
- これからの生活に不安があったけど、どんな大人になりたいか考えたので、楽しみの方が大きくなりました。
- 将来の夢はまだないけど、こういう大人になりたいという理想があるので、その理想を叶えるために「論理性」「誠実性」「責任感」を意識して行動していきたいです。
- 仕事をするとき大切だと思う力については、同じ意見の人もいたけど、理由がそれぞれ違っておもしろかったです。
- 将来の夢である病院関係の仕事に就くために責任感をもてるようにしたいです。そのためには、学校で、係の仕事など責任感をもって頑張りたいです。



自分の目標を全体で共有

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～玉名市立有明中学校での実践～



【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

未来の自分のために、今できることを考えよう。



「親の学び」次世代編の目的を理解



仕事をするうえで大切な力を考える



グループでの意見交換



グループの考えを学級全体で発表

【講座の日程等】

期 日：令和7年（2025年）7月17日（木）
場 所：玉名市立有明中学校 2年1組教室、2年2組教室
日 程：3・4校時（10：40～12：30）
対 象：第2学年 59名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 大丸 廣幸

【講座の説明】

今回の「親の学び」次世代編のねらいは、生徒たちが数年後に仕事をするうえで、身に付けておくべき資質・能力等について皆で考えることとした。生徒それぞれが自分の夢の実現に向けて、社会で求められている資質・能力について意見交換することで、友達の多様な考えにふれたり、自分のこれまでの生活を見つめ直したりしていた。

夢を実現した未来の自分のために、今の自分にできることについて目標シートに書き、今後は教室に掲示される。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編の説明
- 2 アイスブレイク
 - (1) 幸せじゃんけん
 - (2) アドジャントーク（身近なことについてグルーブトーク）
- 3 メインプログラム
 - (1) ワークコンピテンスシートの作成
将来、職場で仕事をするうえで求められている資質・能力を個人で考えた後、グループで意見交換し学級全体で共有し合う。
 - (2) 努力目標を目標シートに記入
未来の自分のために中学生の今からできることや、努力していきたいことを目標シートに記入し発表する。
- 4 まとめ
 - (1) 曲「正解」を聴き、努力することへの意欲をもつことができる。

【生徒の感想】

- 社会に出て求められる力を知ることができた。今の自分のできること、夢を実現させるために何ができるか考えることができて良かった。
- 講座で自分のこれからの考えるとき「自分は無理だろうな」と諦める必要はなく、「可能性は無限大」と気づけた。
- 最初のアイスブレイクのとき、将来のこととか考えられて楽しかった。働くときに大切な力が主体性と知れて良かった。
- みんなで絆を深めることができた。

【学校職員の感想】

- 生徒たちが楽しく活動できている姿が印象的で、生徒たちにとって将来大切なことについて活動を通して学ぶことができたと思う。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池市立旭志中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

描こう♪自分色の未来

～ 採点基準は君の心の中に ～

【講座の日程等】

日にち：令和7年（2025年）11月20日（木）
場 所：菊池市立旭志中学校
日 程：5校時
対 象：第2学年
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「正解のない時代を、自分色に輝かせるために、『必要となる力』について考えよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

1 講座について

- ・「親の学び」次世代編とは
- ・今日の講座の目標の確認
「正解のない時代を、自分色に輝かせるために、『必要となる力』について考えよう！」

2 さいころトーク

- ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う

3 描こう♪自分色の未来

- ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
- ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
- ・学級全体に班の1位を発表する
- ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する

4 まとめ

- ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【生徒の感想】

- ・将来、必要となる力について、じっくりと考えることができたので未来のことに興味をもつことができました。とても楽しいプログラムだったので、また受講したいです。
- ・未来の自分にとって必要となる力について考えるいい機会になりました。社会人になるために、今から行動して、必要な力を高めていきたいです。
- ・今まで、将来のことについて悩むことがありました。ですが、この授業を受けて悩みがふっとんだので、また受けたいと思いました。
- ・自分の将来について考えることができました。これから悩むこともあるかも知れないけど、今回描いた未来に少しでも近づけるように頑張ろうと思いました。
- ・コミュニケーション能力を高めるために、大人の人ともたくさん話をしようと思いました。何か仕事を任せられることがあったら、責任をもってやり遂げていきたいです。
- ・最近、未来の自分の姿が思い描けなくて、「どうしよう」と思っていたけど、授業を受けて未来が少し明るくなったように思いました。



【先生方の感想】

- ・子どもたちが、自由に自分の考えを話していた姿が印象的でした。普段の授業でも自分の考えを話すことができる展開等について考えたいと思いました。
- ・旭志中学校がキャリア教育の視点を取り入れているため、とても参考になりました。旭志中学校全体で、このプログラムをやっていきたくて考えています。
- ・2年1組の生徒と出会ってすぐの授業で難しさがあったと思いますが、子どもたちが生き生きと今の自分、将来の自分と向き合っている姿を見ることができ、よかったです。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池市立泗水中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

描こう♪自分色の未来

～ 採点基準は君の心の中に ～

【講座の日程等】

日にち：令和8年（2026年）2月9日（月）

場 所：菊池市立泗水中学校

日 程：3・4校時

対 象：第1学年

進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「正解のない時代を、自分色に輝かせるために、『必要となる力』について考えよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

1 講座について

- ・「親の学び」次世代編とは
- ・今日の講座の目標の確認

2 今日から君は

- ・校長先生や地域の人々の立場になって学校のことを考え、よりよい学校になるようアイデアを出し合う

3 描こう♪自分色の未来

- ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
- ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
- ・学級全体に班の1位を発表する
- ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する

4 まとめ

- ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【先生方の感想】

- ・とても楽しく参加することができ、私自身も生徒に「未来を生き抜く力」を付けてやれるよう頑張らなければと思いました。今日の帰りの会でも、私の目を見て話を聴く生徒が増えたように感じました。
- ・生徒が生き生きと参加している姿を見させていただき、大変ありがたかったです。普段あまり意欲的ではない生徒がたくさん記入している姿を見て、私もキャリア教育の視点をもって授業をしていかねばならないと感じました。
- ・生徒が笑顔で参加している姿から、学びにしっかり向かっていると感じました。この学年の課題にも気付くことができました。



【生徒の感想】

- ・コミュニケーション力がある人って、単に話すことが上手な人だと思っていたけど、「人と人をつなぐ力」だと教えてもらったので、これから色々な人と関わってみたいです。
- ・先生たちも色々な役で登場してくれたので、楽しく学べました。おうちの人にも話してみようと思いました。
- ・校長先生になりきって、学校便りのネタを作るのが楽しかったです。私は代議員なので、今日出た意見も学校生活に取り入れていきたいと思いました。
- ・「正解のない時代」というテーマで、私は今まで自分の考えが間違っていると思っていたけど、「間違えていないかも」と思えるようになったのでよかったです。これからも自分の考えを大切にしていきたいです。
- ・これからの行動目標を立てるとき、改めて自分の中でしっかりと整理することができました。みんなが笑顔で過ごせるよう生活していきたいです。
- ・親のおかげで生活ができていいるから、ありがとうございますと言いたかったです。またやりたいです。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～合志市立合志楓の森中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

描こう♪自分色の未来

～ 採点基準は君の心の中に ～

【講座の日程等】

日にち：令和7年（2025年）11月7日（金）

場 所：合志市立合志楓の森中学校

日 程：2校時～5校時

対 象：第2学年

進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「正解のない時代を、自分色に輝かせるために、『必要となる力』について考えよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

1 講座について

- ・「親の学び」次世代編とは
- ・今日の講座の目標の確認
「正解のない時代を、自分色に輝かせるために、『必要となる力』について考えよう！」

2 さいころトーク

- ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う

3 描こう♪自分色の未来

- ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
- ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
- ・学級全体に班の1位を発表する
- ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する

4 まとめ

- ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【生徒の感想】

- ・周りがどんな考えをもっているのかが分かってよかったです。自分のことを考えるきっかけになりました。
- ・将来のために身に付けておいた方がいい力（コミュニケーション・主体性）など、意識しながら生活していこうと思いました。
- ・将来、仕事をするうえで、何が大切なのか学ぶことができました。まだ、将来やりたい仕事は決まってないけど、少し何かやってみようという道が見えてきました。
- ・私は、将来の夢があるけど、そのためには勉強だけでなく、自分の発言や生活、人との関わりなどが大切だと分かりました。まず、目標を立てて実行していこうと思いました。
- ・たくさんの人の意見を聞いて、それぞれの異なる考えがあることが知れてよかったです。今回の授業を受けて未来へのヒントを得ることができてよかったです。
- ・コミュニケーション能力は、ただ話すことが上手いだけでなく、周囲のことをよく考えて行動できる人でもあると聞いて、確かにそうだなと思いました。
- ・自分が大人になったらどうなるのか考えることができてワクワクしました。

【先生方の感想】

- ・これから働くということを意識していくうえで、技術や知識だけでなく、社会人として必要な能力について考えることが出来たのでよかったです。
- ・未来を自分色に輝かせるために「必要となる力」は、どれも大切なものばかりで、生徒も真剣に考えていました。他者の考えも知ることができ、とても有意義な時間でした。
- ・生徒が、コミュニケーションを大切にしたいと思っていることが分かりました。生徒自身、自分のキャリアにもつなげて考えていました。今後の指導に生かしていきます。
- ・自分の将来を考えるきっかけになったと思いました。本学級の生徒が選んだ、「自分色に輝かせるために『必要となる力』で1番多かったのが「責任感」であったことが驚きました。これからの学校生活に生かされると思います。

あなたが、将来いろんな人と仕事をしていくうえで
「大切だ!!」と思う力を3つ選ぼう!

誠実性

主体性

チャレンジ精神

協調性

課題解決能力

責任感

コミュニケーション
能力

ストレス耐性

論理性

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～合志市立西合志中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】 西中未来予想図！

～ コミュニケーション能力を磨くための「アイデア」を出し合おう！ ～

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月4日（金）
場 所：合志市立西合志中学校
日 程：5校時
対 象：第1学年 生徒・保護者
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武



【講座の説明】

講座の目標は、「西中未来予想図！～コミュニケーション能力を磨くための「アイデア」を出し合おう！～」です。コミュニケーション能力を磨くためには、学校や家庭でどのようなことに心がけて過ごしていけば良いか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。



【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「西中未来予想図！～コミュニケーション能力を磨くための「アイデア」を出し合おう！～」
- 2 さいころトーク
 - ・さいころを振って、出た目のお題で語り合う
- 3 西中未来予想図
 - ・コミュニケーション能力を磨くために学校や家庭でどのようなことに心がけて過ごしていけば良いか各自で考える
 - ・各自が考えたアイデアを、班で交流する
 - ・全体でアイデアを共有する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【生徒の感想】

- ・親と一緒に過ごす時間の試算を見て、とても少なかったことに驚きました。一緒に過ごす時間を大切にしたいです。
- ・普段あまり話をしない人と話ができ、よかったです。
- ・社会に出たときに、コミュニケーション能力が必要とされていることが分かったので、日頃から心がけていきたいと思いました。
- ・携帯電話の使い方ルールを親と話し合っ決めてもらうことが大事だと思いました。家のルールも見直してみようと思います。
- ・友だちと似ているところやいいところが分かってよかったです。
- ・今日考えたことを、将来、就職するときや面接の際に、生かしていきたいと思いました。
- ・「しあわせジャンケン」や「さいころトーク」を行ったので、楽しい雰囲気でした。
- ・プログラムが進むにつれて、どんどん話が盛り上がっていきました。友だちのことが知れてよかったです。
- ・人前で話すことはあまり得意じゃなかったけど、話しやすい雰囲気だったので、自分の意見が言えてよかったです。

【先生の感想】

- ・多感な時期の子どもたちに自他の保護者と話す機会を設けることができ、貴重な時間となりました。
- ・保護者の皆さまからも好評でした。他のプログラムも是非実施していただきたいです。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～阿蘇市立阿蘇中学校での実践～



【阿蘇教育事務所】

【講座のテーマ】

将来、必要な力は？ ～これからの自分について考えよう～



アドジャントーク



「将来、必要な力は？」ダイヤモンドランキング

【生徒の感想（抜粋）】

- 自分の将来に向けて、必要な能力について考えることができたのでよかった。
- 自分で将来のことなどについていろいろ考えたり、友達の新しい一面を知れたりすることができてよかった。
- 自分の将来について大体しか考えてなかったけれど、今日、班の友達の話聞いて自分の考えが深まったのでよかった。
- 将来のことについて考えることができたので、志望校を選ぶ時にも参考にできると思った。
- 今の自分に足りてない力や、これから自分が社会に出た時に必要とする力について、深く考えることができた。
- 友達の意見を聞くことができたし、自分が考えたことのない質問を友達がたくさんしてくれたので、自分の考えを深めることができた。
- 自分に必要な力を理解することができたし、向上させるための行動目標を考えることができた。

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）10月3日（金）
場 所：阿蘇市立阿蘇中学校
日 程：6校時（15：00～15：50）
対 象：第3学年（3学級）110名
進行役：阿蘇教育事務所 社会教育主事 内野 龍一

【講座の説明】

高校入試を控えた3年生が、アドジャントークで今の自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりした。

「将来、必要な力」について、生徒一人一人がダイヤモンドランキングで考え、選んだ理由等をグループで話し合った。全体共有では、ロイロノートのアンケート機能を活用し、阿蘇中3年生が最も大切だと思う資質・能力について回答し選んだ理由を共有した。

自分の将来の夢や目標（自立）に向けて、自分が頑張りたい（続けていきたい）ことについて考え、行動目標を設定した。

生徒が行動目標を意識して取り組めるように、ワークシートに「One week challenge！」欄を設けた。

【プログラムの実際】

（・生徒の反応）

- 1 アイスブレイク
「ありの目 とりの目 さかなの目」等
- 2 アドジャントーク
- 3 「将来、必要な力は？」ダイヤモンドランキング
 - ①自分が将来働くうえで必要だと思う力を3つ選ぶ。
 - ②選んだ力をランキングし、その理由を考える。
 - ③グループで、自分の考えと理由を伝え合う。
 - ④グループで、「一番大切」だと思う力を決める。
 - コミュニケーション能力が一番。（人と人とのコミュニケーションは挨拶からだと思う。まず挨拶をしているいろいろな人とコミュニケーションをとることで、いろいろな人と協力することができるから。）
 - チャレンジ精神が一番。（何事も挑戦してみないと自分の成長にはつながらないと思うから。）
- 4 これからの行動目標を立てよう
 - コミュニケーション能力を高めるために、友達や家族、先生方と毎日話したり、相手の考えを聞いたりする。
 - 将来の夢を実現するために、毎日1時間、英語の勉強を頑張る。
- 5 まとめ
ひとつひとつの学び・努力・経験の積み重ねがあなたの未来をつくります！未来（夢・目標）に向かって、一歩ずつ前に進み、成長していきましょう！

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～甲佐町立甲佐中学校での実践～



【上益城教育事務所】

【講座のテーマ】

将来の夢や目標を達成するために、今の自分を見つめなおし、
自立に向けた行動目標を立てよう！



【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）9月16日（火）
場 所：甲佐町立甲佐中学校
日 程：2～4校時（9：50～12：40）
対 象：第1学年 3学級 85名
進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 田上 清之

【講座の説明】

自分の将来について考えるために、「私の未来へ～『自立』へ向けての第一歩～」と題したプログラム。職業的自立、身辺的自立、社会的自立の3つの自立について自分自身を見つめることをとおして、自分の将来（自立）に向けて、今後の行動目標「やるべきことや気を付けること」を考える機会とした。



【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
- ② アイスブレイク
- ③ プログラム1
(大人になった自分をイメージするサイコロトーク)
 - ・生徒たちが大人を意識するような話題を設定し、気軽になんでも話すことができるようにする。
- ④ プログラム2：
(自立について自分自身を見つめるワーク)
 - ・中高生が将来就きたい職業のアンケート結果を参照したり、チェックシートを活用したりして、自分自身の自立について見つめる機会とする。
 - (将来のため、今やるべきことについて意見交流)
 - ・グループで、社会的自立について今の自分にとって大切だと思うことについて紹介し合い、今後の行動目標を考える。
- ⑤ まとめ
(活躍しているアスリートの言葉を知る)
 - ・大谷選手の名言等を参考にし、今日の学びを日々の生活に生かすために、自分を高める意欲を持つ。



【生徒の感想】

- ・僕が今日学んだことは、一言で自立と言ってもたくさんあるということです。僕はあいさつを自分からすることができていたので、続けていきたいです。学んだことを生かしてこれからも生活していきたいと思いました。
- ・自分たちに関わりが深い、身辺的自立と社会的自立の具体的な内容を知ることができました。自分ができていること、自分に足りないことが分かったので、日常生活で生かしていきたいと思いました。
- ・自立を果たすうえで、生活習慣、整理整頓といった身の回りのことはもちろん、自分で判断する、円滑なコミュニケーションをとるといったことも意識する必要があると感じました。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～八代市立第七中学校での実践～



【八代教育事務所】

【講座のテーマ】 大切なのは、親子での「学び」と「関わり」

～スマホ利用の際にトラブルに巻き込まれないために～

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月11日（金）

場 所：八代市立第七中学校 体育館

日 程：5校時（14：10～15：00）

対 象：全学年生徒及びその保護者

進行役：八代教育事務所 社会教育主事 俣嶋 孝宏

参加者：生徒110名、保護者70名

【講座の説明】

夏休み前の授業参観の機会に、スマホ利用を振り返る時間となるよう、親子一緒に考える参加型の時間を多く取りました。LINEでのトラブルとなる場面やSNSの危険性、長時間利用の弊害やスマホゲームの高額課金問題、最近のニュースでも多くなっている闇バイトの問題も含めて、情報提供し、トラブルに巻き込まれないための対応を考えました。

最後は、家庭でのルールづくりのよりよい方法を確認して、トラブルに巻き込まれないためにはどうしたらよいかを今のスマホ利用の現状を振り返った上で考えました。

この親子教室での学びを家庭生活につなげて、生徒自身が自分の身を守る行動を続けていってほしいと思います。

【プログラムの実際】

1 今日のためについて

「近い将来、大人：保護者になった時に『必要となる見方』について考えよう。」

2 アイスブレイク（場面をもとに考えよう）

・スマホ利用（LINEトーク）の場面をもとに考える。

3 スマホ依存（ネット・ゲーム・SNS等）と生活習慣の乱れについて

・トラブルの現状（①長時間利用 ②高額課金 ③闇バイト）から考える。

4 家庭でのスマホ利用の「ルールづくり」について

・親子で話し合って決める・具体的なルールにする 等

5 まとめ

・本日の内容を振り返り、日頃からの生徒・保護者（親）の「学び」と「関わり」の重要性を確認する。



アイスブレイク



親子で考える・親子で学ぶ機会に



全体共有・まとめ

【生徒の感想】

○普段使っているスマホの利用を振り返る機会になりました。ゲームをする時間を減らそうと思いました。
○スマホを使うときに、気をつけないといけないことが分かりました。闇バイトに誘うDMに気をつけないといけないし、親に迷惑をかけない利用の仕方をしようと思いました。

【保護者の感想】

○これから子供がスマホを安全に使用していく上で、今日の講話の話題（長時間利用の弊害や闇バイトの危険性等）を親子で一緒に知って対応を考えたのは、とても有意義だったと思います。

○家でのスマホ利用について、親子で一緒に考えて振り返る機会になりました。家庭でのルールづくりについても親子で再確認をして、お互いに話し合ってよりよい使い方を決めていこうと思います。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～水俣市立緑東中学校での実践～



【芦北教育事務所】

【講座のテーマ】

人との接し方について考えよう（時と場合に応じた関わり方を知ろう）



【講座のテーマについて】

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）12月16日（火）

場 所：水俣市立緑東中学校 音楽室

日 程：5校時（13：35～14：25）

対 象：全学年 26名

進行役：水俣市立緑東中学校 教諭 山田 幸穂

【講座の説明】

電話のかけ方や受け方のロールプレイを通して、場や相手に応じた接し方が必要であることを知り、主体的な生活、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

【プログラムの実際】

- 1 「時と場に応じた行動」について、アンケート結果を見る。
- 2 めあてと学習課題を確認する。
- 3 場面Ⅰ「友達の家に電話をする」について考える。
 - ・自分の考えを共有アプリのカードに記入する。
 - ・グループでロールプレイをする。
 - ・感想を交流する。
- 4 場面Ⅱ「取引先の会社に電話する」について考える。
 - ・自分の考えを共有アプリのカードに記入する。
 - ・教職員を交え、グループでロールプレイをする。
 - ・感想を交流する。
- 5 本時の学習について振り返り、考えを伝え合う。
- 6 全体でまとめをし、今後の人との関わり方について考える。



【自分の考えを入力】



【教職員を交えてロールプレイ】

【生徒や先生の感想】（一部抜粋）

- 電話をかけた相手が、今どんな状況かによって対応は変わってくるので、自分が社会人になってから、どのようなシチュエーションで電話をかけるか、また相手から電話がかかってくるという場面でも、いつでも平静にその場にあった臨機応変な対応をしていけるよう、今回の活動を活かしていきたい。（生徒）
- 敬語を上手に使用しようとすると、考えすぎて戸惑ってしまうので気をつけようと思った。用件の内容を相手に分かりやすく簡潔に伝えることがとても大切だと感じた。（生徒）
- 生徒が、かしまった場面を想定するという手法が面白かった。また、職員を活用することも良い発想で、両方にとって有意義な時間だった。（先生）
- 体験を通じた振り返りが各々しっかりできていたのが印象的だった。このような体験を積み重ねることの重要性を強く感じた。（先生）



【全体での振り返り】

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～相良村立相良中学校での実践～



【球磨教育事務所】

【講座のテーマ】

親の立場に立って考えることで、自分を見つめ直そう！
～スマホやネット、SNSの利用から考える～



「親の学び」次世代編のねらいを聞く様子

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月11日（金）

場 所：相良村総合体育館

日 程：5校時（14：10～15：00）

対 象：相良村立相良中学校 第1学年（34名）

第2学年（39名）

保護者

進行役：球磨教育事務所 社会教育主事 有村 重幸

【講座の説明】

身近な道具となっているスマートフォン等の利用方法について、自分のスマートフォン利用状況を確認しながら、親の立場で考えることを通して、実生活を見つめ直したり、親子が納得する利用上のルールを考えたりする活動を実施した。その活動を通して、安心・安全な使い方や規則的な生活習慣を考える機会とすることをねらいとした。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - ・「親の学び」次世代編のねらいを知る。
- 2 アイスブレイク
 - ・ものの見方や広い視野を考える頭の体操
 - ・さいころトーク
- 3 私の主張と親の主張
 - ・スマートフォン等の利用状況をチェックする。
 - ・ある親子の会話から考える。
 - ・自分が親になった視点で考え役割演技をする。
 - ・親子がお互いに納得する方法を考える。
- 4 まとめ
 - ・親子のコミュニケーション
 - ・家庭でのルールづくり
 - ・機器とアプリの設定

【生徒の感想】

- ・これまで親の気持ちを考えずに、スマホを使っていました。今回の講座で親の気持ちを知れたので、ルールを守り、親が心配しないような使い方をしたいと思います。
- ・まだスマホを持っていないけど、いつか持つ時には、親子でルールを決めて、ルールを守って使おうと思います。また、親子のコミュニケーションも大切だと思いました。
- ・この講座を受けて、親の思い等を考えてみて、厳しく言うのは、私たちを心配して言ってくれていることがわかりました。ルールを決める時は親と話し合っ決めてようと思います。
- ・さいころトークや班活動を通して、より仲を深められ、相手について知ることができました。スマホ使用のルールについても、再確認できてよかったです。



アイスブレイク（さいころトーク）の様子



事例について役割演技をしている進行役と職員の様子



班で自分の意見を発表する様子

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～上天草市立龍ヶ岳中学校1年生での実践～



【天草教育事務所】

【講座のテーマ】

- ①イライラした時の対処法「イライラ解消法」を考えよう。
- ②大人になったときのために、「上手なお金の使い方」を考えよう。



【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月16日（水）

場 所：上天草市立龍ヶ岳中学校 1年教室

日 程：2校時（9：25～10：15）

対 象：第1学年 22名

進行役：天草教育事務所 社会教育主事 緒方 大将

【講座の説明】

学級の実態に合ったプログラムを選んでいただき、2つのプログラムを組み合わせ、1時間（50分）の授業で実施した。

①では、イライラすることは誰にでもあることを共感的にとらえ、自分たちにできそうな解消法について考えることをねらいとした。

②では、社会人になったときの生活を想像し、健全な金銭感覚を身につけようとする態度を育てることをねらいとした。

①②を通して、将来のじりつ（自立・自律）に向けての意識を高められるよう本講座を実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
- 2 アイスブレイク
「ありの目 とりの目 さかなの目」 等
- 3 イライラ解消法 ～見つけたよ、myリラクゼーション～
 - ・最近、イライラした時のことを付箋に書いて出し合う。
 - ・出し合った付箋をグルーピングし、それぞれの「イライラ解消法」について話し合う。
- 4 上手なお金の使い方 ～どうする？あなたの意思決定～
 - ・場面設定を知り、自分だったらどうするかを考える。
 - ・グループで自分の考えを伝え合い、話し合う。
 - ・他のグループの人とも考えを交流する。
- 5 まとめ、振り返り
今日の学びや、大人、親になったときに生かしたいこと等をまとめ、振り返る。

【生徒の感想から（抜粋）】

- ・私は、イライラを上手く解消したり、お金を上手に使ったりすることは、大人になるために必要なことだと思いました。
- ・自分のイライラを抑えるために、自分の気持ちを伝えていこうと思いました。
- ・イライラした時には、「友達に相談する」という友達の意見が、いいなと思いました。
- ・お金の使い方では、自分の状態を理解して使い道を考えようと思いました。大人になっても生かしていきたいです。
- ・親になったとき、お金の大切さを教えていきたいです。

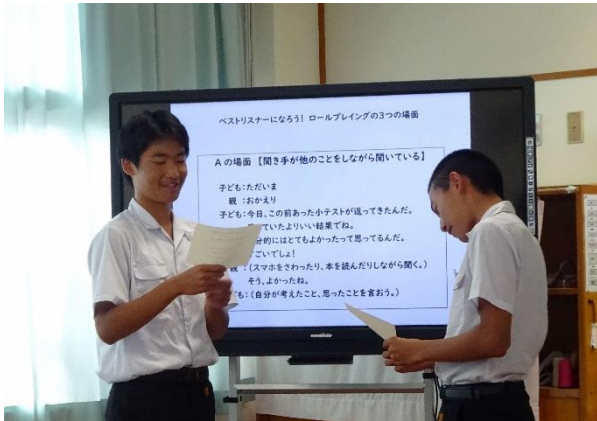
「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～上天草市立龍ヶ岳中学校2年生での実践～



【天草教育事務所】

【講座のテーマ】 ベストリスナーになろう



【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月16日（水）

場 所：上天草市立龍ヶ岳中学校 2年教室

日 程：3校時（10：25～11：15）

対 象：第2学年 16名

進行役：天草教育事務所 社会教育主事 緒方 大将

【講座の説明】

学級の実態に合ったプログラムを選んでいただき、1時間（50分）の授業で実施した。

提示した想定場面でロールプレイを行い、「ベストリスナー（良い聞き手）」になるためのポイントについて考え豊かな人間関係を築こうとする気持ちを高めることをねらいとした。また、自分たちで考えた聞き方のポイントを活用できるよう、生徒同士でコミュニケーションを図る場面を設定した。



【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
- 2 アイスブレイク
「ありの目 とりの目 さかなの目」 等
- 3 ロールプレイ
①グループで役割（子供、親、見る人）を交代しながら、3つの場面でロールプレイをする。
②ロールプレイをして感じたことを共有する。
- 4 ベストリスナーになるためのポイントをまとめる
グループで話し合いながら、思考ツール（くらげチャート）にポイントをまとめる。
- 4 すごくトーク
まとめたポイントを活用しながら、グループですごくトークをする。
- 5 まとめ、振り返り
今日の学びや、大人、親になったときに生かしたいこと等をまとめ、振り返る。



【生徒の感想から（抜粋）】

- ・聞き手や話し手に分かれてやってみると、あらためて大切なことに気づくことができました。すごくトークでは、楽しみながらも、相手に共感したり、反応を積極的にしたりできました。これから、場面によって切りかえていけるよう、普段からやっていたいと思いました。
- ・同じことを言うにしても、話し方や態度などで相手への伝わり方が変わるということが分かりました。場面や状況に合った話し方をして、コミュニケーション力を高めたいです。
- ・親の役をしてみても、親の気持ちが少し分かりました。ベストリスナーになるために、自分が言うことは相手はどう思うかを考えて発言していきたいです。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～上天草市立龍ヶ岳中学校3年生での実践～



【天草教育事務所】

【講座のテーマ】

- ①大人になったときのために、「上手なお金の使い方」を考えよう。
- ②子供の立場、親の立場になって、親子の関わりについて考えよう。



【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）7月16日（水）

場 所：上天草市立龍ヶ岳中学校 3年教室

日 程：4校時（11：25～12：15）

対 象：第3学年 16名

進行役：天草教育事務所 社会教育主事 緒方 大将

【講座の説明】

学級の実態に合ったプログラムを選んでいただき、2つのプログラムを組み合わせ、1時間（50分）の授業で実施した。

①では、社会人になったときの生活を想像し、健全な金銭感覚を身につけようとする態度を育てることをねらいとした。

②では、親の立場に立って子供への思いを考えることを通して、より良い親子関係をつくろうとする気持ちを高めることをねらいとした。

①②を通して、将来のじりつ（自立・自律）に向けての意識を高められるよう本講座を実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
- 2 アイスブレイク
「ありの目 とりの目 さかなの目」 等
- 3 上手なお金の使い方 ～どうする？あなたの意思決定～
 - ・場面設定を知り、自分だったらどうするかを考える。
 - ・グループで自分の考えを伝え合い、話し合う。
 - ・他のグループの人とも考えを交流する。
- 4 理想の親子 ～子供の立場と親の立場～
 - ・エピソードをもとに、子供の立場に立って考える。
 - ・親の立場に立って考える。
 - ・考えたことを、グループで共有し、より良い親子関係について話し合う。
- 5 まとめ、振り返り
今日の学びや、大人、親になったときに生かしたいこと等をまとめ、振り返る。

【生徒の感想から（抜粋）】

- ・大人になっても、自分がやりたいことと生活で悩むこともあると思うので、適切に判断していきたいです。
- ・お金の使い方など、今のうちにちゃんと理解して、自分が大人、親になったときに、正しいことを教えられようになりたいです。
- ・親と子の立場で、考え方が変わると思いました。親は、子供のことを思って言っていることが多いと思うので、将来、私もそんな親になりたいと思いました。
- ・親の立場になったとき、「ダメなことはダメ」と言える親になりたいと思いました。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山鹿市立山鹿中学校での実践～



【山鹿市教育委員会】

【講座のテーマ】

これどう思う？あなたのモラルは？

【講座の日程等】

実施日：令和7年（2025年）11月12日（水）
場 所：山鹿市立山鹿中学校 体育館
日 程：5校時（13：40～14：30）
対 象：第3学年 235名
進行役：県社会教育課 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

講座の前半では、雰囲気よく話し合いが進むように、アイスブレイクや「アドジャントーク」を取り入れた。主活動では、日常の身近にある事例をもとに、「Yes or No？」の活動を通して自分の行動におけるモラルについて考えるとともに、社会の一員として「皆が『いいね！』と思う社会」を作ろうとする心情を高めるプログラムを実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - 本日のねらいの確認
- 2 アイスブレイク
- 3 アドジャントーク
- 4 「考えに気付く、考えを深める」プログラム
 - 「これどう思う？あなたのモラルは？」
 - 「Yes or No？」の活動を通して考える
 - 「皆が『いいね！』と思う社会」について考える
 - 考えたことや感想を全体に紹介する
- 5 まとめ

【生徒の感想】

- モラルについて考える良い機会になりました。同じ班の人のまだ知らない所を知ることができました。自分の意見と周りの意見が違ったりして話していて楽しかったです。より良い社会にしていけるために自分にできることを考えて、実際に実践していきたいと思いました。
- モラルへの意識を高くすることで、自分はもちろんだけど周りのみんなも毎日気持ちよく過ごすことができるので、“これくらいいいや”とか“自分さえ良ければ”という考え方をやめて、“自分がこれをする事で周りにはこんな影響がある”というように常に考えようと思いました。
- 日頃の私たちの一つ一つの行いにも、モラルやマナーがあり、一人一人がモラルを守ることで、良い社会や良い環境をつくっていくということを改めて知ることができました。心地よい社会を未来に繋げていくためにも日々の一つ一つの行動に責任を持ち、みんながモラルを守ることが大切だと思いました。



アイスブレイクの様子



タブレットを使用している様子



グループで意見交換している様子



代表者が発表している様子

「可能性と希望を語ろう～菊水中 未来への提案～」 次世代編実践事例紹介 ～和水町立菊水中学校での実践～

【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

「和水町の将来 ～笑顔輝き 魅力あふれる 和水町～」

【講座の日程等】

期 日：令和8年（2026年）1月23日（金）
場 所：和水町立菊水中学校
日 程：3・4校時（10：50～12：40）
対 象：第2学年 43名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 大丸 廣幸
参観者：和水町教育長、和水町議会議員4名

まちづくりに参画する生徒たちの
意見表明の場としての活用

【プログラムの実際】

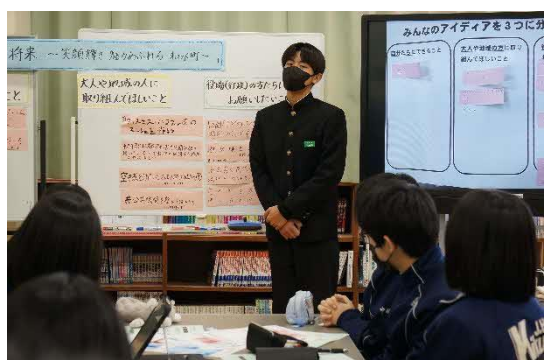
- 1 和水町の地域創生に関する意識をもつ。
- 2 アイスブレイク①
餃子じゃんけん
- 3 メインプログラム①「これからも守っていききたい和水町のよさ」
 - ・和水町役場職員から和水町の現状や願いの話を聞く。
 - ・和水町（菊水、三加和）のよいところを出し合う。
個人で考えた後、グループで検討し学級全体で共有する。
- 4 アイスブレイク②
アドジャントーク（身近なことに関するグルプトーク）
- 5 メインプログラム②「笑顔輝き魅力あふれる和水町をつくるのは私たち」
 - ・和水町役場職員から生徒の考えに対する意見を聞く。
 - ・「笑顔輝き魅力あふれる和水町」にするために取り組むことについて話し合う。
 - ・今の自分たちができること、大人や地域の方にやってほしいこと、役場（行政）の方たちにやってほしいことの3つに分類し発表しながら、学級全体で共有する。
- 6 まとめ
 - ・和水町役場職員から感想を聞く。
これからは和水町の担い手となっていくことを生徒に知らせ、前向きな気持ちを持たせる。

【生徒の感想】

- ・授業を終えて、私たちがこれからは和水町を支え、良くしていかなければならないんだと改めて実感しました。これからは大好きな町やこれから暮らす誰かの為に、今の私に何ができるかを考え、できることから実践していきたいです。
- ・私は和水町が大好きです。この町の良さをもっといろんな人達に広めることができたらなあと思いました。先日、町に入るとき、境界看板に「ようきはあった」と書いてあり、「めっちゃいいな」と思いました。このようなことを皆と共有したり、発表し合ったりしてとてもいい機会になりました。
- ・和水町は子ども支援が手厚く、今、自分的に住みやすいなと思っているけれども、大人になった時はと考えると、少し不便だと感じます。学びを深める良い授業でした。

【学校職員の感想】

- ・今後も「町の後継者を育てる」という認識を幼保等・小・中学校や地域、行政と共有し、実践を深めていこうと思いました。



「和水町の未来のリーダーの育成～未来を担う人づくり～」 次世代編実践事例紹介 ～和水町立三加和中学校での実践～

【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

「和水町の将来 ～笑顔輝き 魅力あふれる 和水町～」

【講座の日程等】

期 日：令和8年（2026年）3月18日（水）

場 所：和水町立三加和中学校

日 程：3・4校時（10：40～12：30）

対 象：第1学年 24名

進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 大丸 廣幸
和水町社会教育課 社会教育係 大庭 柚奈

参観者：県教委、玉名教育事務所指導課長
各事務所社会教育主事、
和水町教育長、町社会教育教育課

和水町の良さや課題を考え、伝え合う。



【プログラムの実際】

- 1 和水町の地域創生に関する意識をもつ。
- 2 アイスブレイク①
餃子じゃんけん
- 3 メインプログラム①「これからも守っていききたい和水町のよさ」
 - ・和水町役場職員から和水町の現状や願いの話を聞く。
 - ・和水町のよいところを出し合う。
個人で考えた後、グループで検討し学級全体で共有する。
- 4 アイスブレイク②
アドジャントーク（身近なことに関するグループトーク）
- 5 メインプログラム②「笑顔輝き魅力あふれる和水町をつくるのは私たち」
 - ・和水町役場職員から生徒の考えに対する意見を聞く。
 - ・「笑顔輝き魅力あふれる和水町」にするために取り組むことについて話し合う。
 - ・今の自分たちにできること、大人や地域の方にやってほしいこと、役場（行政）の方たちにやってほしいことの3つに分類し発表しながら、学級全体で共有する。
 - ・和水町の素晴らしさを次世代に伝えるため「戦国肥後国衆祭り」に自分たちが参画する方法について考える。
- 6 まとめ
 - ・和水町役場職員から感想を聞く。
 - ・曲「正解」を聞く。まとめの話を聞く。



自分たちにできることは何ができるか考え、伝え合う。

町の祭りに参加するだけでなく、
参画できる人になってほしい。
期待しています。

【生徒の感想】

- ・アイスブレイクが楽しく、和やかな雰囲気です授業をはじめることができました。和水町の良さや課題を考えることができました。祭りに参加するだけでなく、どのように参画できるか考えてみたいです。

【学校職員の感想】

- ・今回の学習で生徒らと共に、町の現状と未来のことを考えることができた。本校では起業体験を行っているので、次年度の計画や活動に活かしていきたい。



「自分らしい生き方」を問い、未来につなげる

「親の学び」プログラム 次世代編

～ 学級活動等で活用してください！ ～

「親の学び」プログラム次世代編 は…

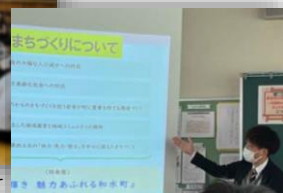
生徒たちに、これから必要となる力や考えて欲しいテーマについて盛り込んだ「じりつ(自律・自立)を育むコミュニケーションプログラム」のことで、次世代編Ⅰ・Ⅱ計24のプログラムがあります。

本プログラムは、【キャリア教育】の視点を持ち、学級活動や総合的な学習の時間等でも活用することができます。

また、保護者や地域住民とともに、地域の魅力や課題について考え協議する場での活用も可能です。



地域のよさや課題を出し合う様子



町の担当者が授業に参画する様子



ICT機器を活用して考えをまとめる様子



I-プログラム6
「ベストリスナー」

青文字は…
4つの能力に係る
「具体的な要素」の一部

II-プログラム2
「これいいね！My
ストレス解消法」
(学級活動:内容(2)アウエ)

II-プログラム1
「聞いて！話して！友
達のこと、自分のこと」
(学級活動:内容(2)アウ)

他者の個性を
理解する力

ストレスマネジメント

は…
次世代編プログラムの例
と中学校学習指導要領
特別活動との関連
(学級活動:内容項目)

コミュニケー
ション・スキル

人間関係
形成・社会
形成能力

自己理解
・自己管理
能力

前向きに考える力

キャリア教育で育成すべき力

「基礎的・汎用的能力」四つの能力

I-プログラム4
「コペルニクスの発想法」

課題発見・計画
立案・実行力

課題対応
能力

キャリア
プランニング
能力

将来設計

II-プログラム8
「モラルやマナーについ
て考えよう」
(学級活動:内容(2)エ(3)イ)

I-プログラム9
「20年予想S」



将来

I-プログラム8
「理想の親子」

情報の理解
・選択・処理

行動と改善

II-プログラム11
「夢をもとう！」
(学級活動:内容(2)ア(3)ウ)

出典：小・中・義務教育学校用基礎期における手引書「くまもとの教師としてスタートしたみなさんへ」第16章 キャリア教育

お問い合わせ先： 熊本県教育庁 市町村教育局 社会教育課
家庭教育支援班 Tel.(096)333-2697

「親の学び」プログラム次世代編は、生徒たちにこれから必要となる力や考えて欲しいテーマについて盛り込んだ「じりつ（自律・自立）を育むコミュニケーションプログラム」のことで、次世代編Ⅰ・Ⅱ計24のプログラムがあります。

本プログラムは、学級活動や総合的な学習の時間等でも活用することができます。また、保護者や地域住民とともに、地域の魅力や課題について考え協議する場での活用も可能です。



「親の学び」次世代編
プログラム (県教委HP)



「親の学び」次世代編
プログラムⅡ (県教委HP)

